

行政視察報告書

経済建設常任委員会委員長 山田 徹

1 日にち	令和4年10月26日(水) 10時～12時
2 視察先	長野県千曲市
3 参加者	委員長：山田徹 副委員長：渡部昇 委員：佐藤信行、古庄修一、柴田雅也、林美行 経済部長：長江信行 議会事務局：阪野広紀
4 調査内容	ロケツーリズムを通じた地域振興について
5 所感、主な質疑の内容、提言事項、課題等	<p>千曲市のロケツーリズムは、先行自治体と比べ後発であったにも関わらず、わずか2年程で成功を収めた。千曲市のロケツーリズムが成功した要因や今後の展望をお聴きすると共に、実際に映画の撮影が行われたロケ地（あんずの里）の視察もさせていただいた。</p> <p>【主な質疑内容】</p> <p>□ロケツーリズムを始めたきっかけは？ →観光資源や市民の郷土愛の活性化を目的として企画された。</p> <p>□官民一体で行うまでの問題点と解決法は？ →当初、民間事業者等はロケツーリズムに懐疑的であったが、実際に始まるとわが町が映画に使われているという事で次第に協力的になっていった。</p> <p>□わずか2年程で成功を収めているが、準備期間など、どのような取り組みがあったか？ →トップダウン型で映画関係者などへのプレゼンを行ってきた。前市長の強いリーダーシップによるところが大きかった。</p> <p>□成功の理由とこれからの展開について →ロケツーリズムをスタートさせてから、すぐに複数の作品のロケ地となったことで業界からも注目されている。現在は千曲市から売り込むことはせず、業界からの反応待ちの姿勢で対応している。</p> <p>【所感】</p> <p>千曲市は、前市長の強いリーダーシップにより成功を収めた。また、担当者は、業界とのパイプ役としての役割だけではなく、千曲市にある資源（撮影箇所、宿泊所、食事、交通規制など）の情報整理、または民間事業者との連携も含め、しっかりとした信頼を得ることも重要であった。</p> <p>ロケツーリズムには、撮影などによりもたらされる1次的な収</p>

入だけではなく、その後の聖地巡礼などといった2次的な効果も期待されている。実際に、千曲市でロケを行った映画の主演女優が、プライベートでロケ地に聖地巡礼として訪れ、SNSに投稿したところ、8万もの「いいね」が付き、多くの人々が千曲市を知るきっかけとなった。これは宣伝効果としてはかなり大きいと考えているとのことであった。

しかし、現在の千曲市は、ロケ地として積極的な売り込みはせず、待ちの姿勢で対応している。トップセールスを兼ねていた前市長や、業界や多くの方面との信頼関係を築いてきた当時の担当者など、一部の人材により、事業の成否が大きく変わるという性質がある事を踏まえると、本市における採用は慎重であるべきかもしれないとの考えに至った。



【千曲市役所会議室にて】



【あんずの里での現地視察】